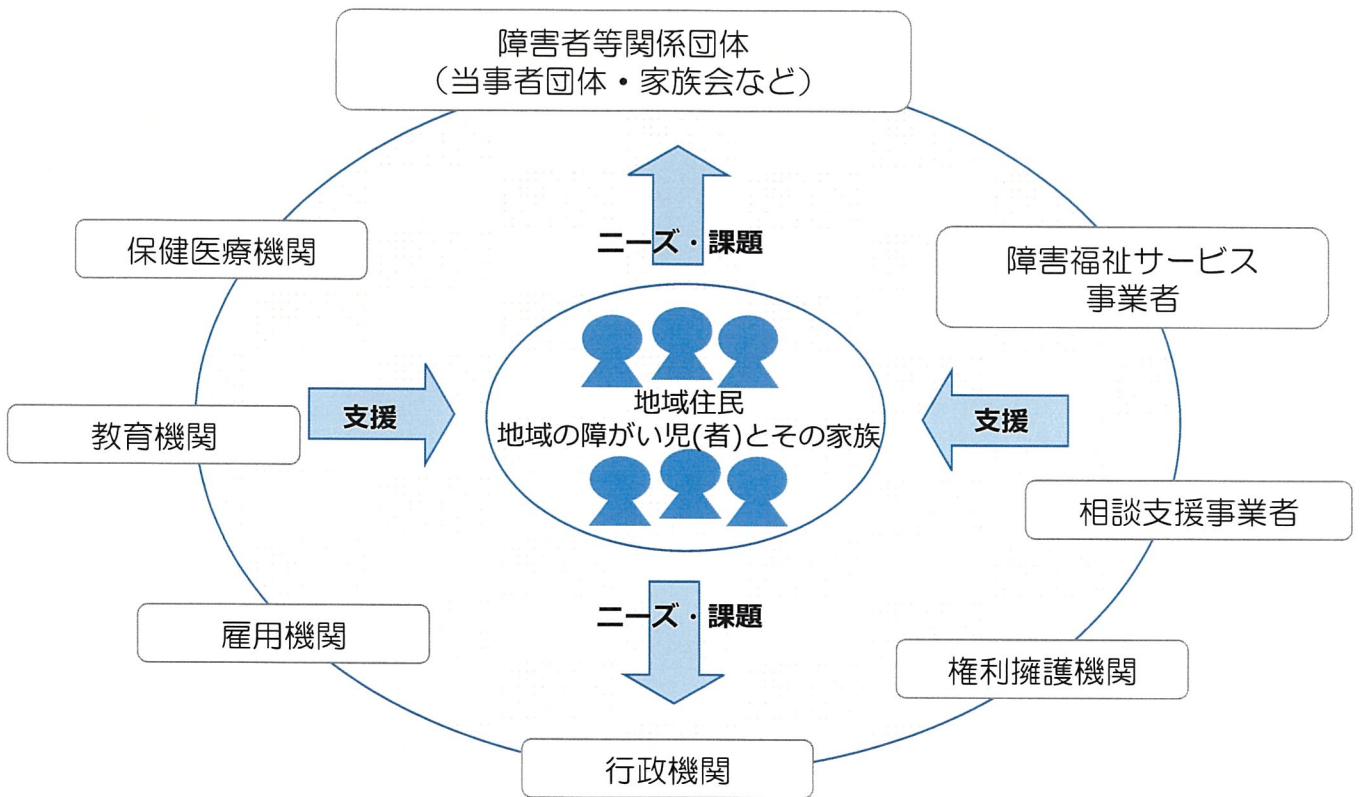


令和3年度 宮城東部地域自立支援協議会  
(塩竈市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町)

# 年間活動報告書

宮城東部地域自立支援協議会  
(令和4年3月発行)

◆宮城東部地域自立支援協議会 構成図



◆宮城東部地域自立支援協議会 組織図

宮城東部地域自立支援協議会

地域づくり運営会議  
(地域づくり運営委員・2市3町)

地域づくりネットワーク会					2市3町会
<b>家族支援ネットワーク</b> きょうだいい児支援 知的分会 精神分会 身体分会	<b>支援者ネットワーク</b> 支援者同士の情報共有・連携強化	<b>相談支援部会</b> ・支援者同士の情報共有・連携強化 ・個別ケース支援からの地域課題抽出 ・相談支援のスキルアップ	<b>障がい者差別解消部会</b> ・障害者差別に関する相談体制の整備 ・関係機関が対応した相談に係る事例共有 ・差別解消に関する取組の周知・発信や障害特性理解のための研修・啓発	<b>地域生活支援拠点等運営プロジェクト</b> 地域拠点センターの機能を強化し、緊急事態にも対応できるサービス基盤の構築を目指す	■精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築のための協議の場  ■ダイレクトB（支援学校高等部3年生を対象とした就労アセスメントに係る地域連携）

令和3年度 宮城東部地域自立支援協議会・プロジェクトおよびネットワーク構成

	地域生活支援拠点 等運営プロジェクト	家族等支援 ネットワーク 精神分会	家族等支援 ネットワーク 身体分会	家族等支援 ネットワーク 知的分会	家族等支援 ネットワーク きょうだい児分会
運営委員	さとう 佐藤 吉永 氏 (太陽の子多賀城)	あべ 阿部 しゆくこ 肅子 氏 (緑ヶ丘病院)	かんの 菅野 いさむ 勇 氏 (杏友園)	しま 島 ともゆき 知由 氏 (嶋福社)	こんの 今野 ゆみ 由美 氏 (利府支援学校)
行政	2市3町	塩釜市 利府町	七ヶ浜町		多賀城市 松島町
相談支援	しおーも	けやき ふつとわへく	松島社協	ひまわり	太陽の家 もりのひろば
関係機関	・下山氏 (家族会) ・好井氏 (家族会)	・藻塩の里	・杏友園	・太陽の子多賀城	・こうそう ・かりん ・あとれ ・ひまわり園
ふきのとう	佐藤・竹内・行本	佐野	佐野・佐藤	佐野	佐藤・行本

## 1. はじめに

2市3町協働の「宮城東部地域自立支援協議会」が立ち上がって、9年が経過しました。

令和元年度末から新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの協議会の歩みにも大きな影響がありました。多くの会議や交流の場が中止や延期を余儀なくされました。また、圏域内外を問わず、多くの関係機関の活動が制限され、未だ社会全体が閉塞感に包まれています。

そのような中であっても、圏域を構成する2市3町（塩竈市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町）と、地域の障害福祉関係者が協力してできる範囲での活動を継続してまいりました。本書をもって関係者の皆様へのご報告をさせていただくと共に、令和3年度の活動のまとめとさせていただければと思います。

令和4年度は「宮城東部地域自立支援協議会」として10年目の節目を迎えます。皆様とお目にかかる機会が少しでも増えることを願いつつ、協議会を通じた地域づくりを継続して参りましょう。今後とも協議会の運営にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 2. 令和3年度宮城東部地域自立支援協議会活動実績報告

### ① 2市3町会議（事務局会議）

圏域を構成する2市3町と、協議会の事務局を委託している地域拠点センターふきのとう（基幹相談支援センター）とで構成されており、毎月第2水曜日に定例の会議を開催しました。定例の議題（ふきのとうの月次業務報告）に加え、協議会の年間計画に基づいて、各部会、プロジェクト等、協議会のネットワークを活用した事業の企画と推進に係る協議を行いました。

また、本年度より2市3町会議の中に「精神地域包括ケア検討会」の機能を追加し、地域の仕組み作りに向けた研修と協議を開始しました。（詳しくは後述します。）

2市3町会議の準備のため、毎月「事務局会議」（主担当市町、副担当市町、ふきのとうで構成）を行ってきましたが、11月より廃止し、2市3町会議の場で構成市町が揃って議論を深めることとしました。

### ② 精神地域包括ケア検討会・・・資料1参照

### ③ 運営会議・・・資料2参照

### ④ 相談支援部会・・・資料3参照

⑤ 障がい者差別解消部会

昨年度までに開催した研修会では、「合理的配慮」の意味や、障がい者差別を解消するための宮城県の取り組みを知る機会となり、参加者から研修の継続を求める声が多かったことから、今年度も研修会の開催に向け、講師との打ち合わせを重ねてきました。

メイン講師に加えてゲストスピーカーもお願いして、3/2に研修会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により次年度に延期となりました。

⑥ 地域生活支援拠点等運営プロジェクト・・・資料4参照

⑦ 家族等支援ネットワーク

○身体分会

計3回の会議を開催しました。

身体障害をお持ちの当事者の皆様と、支援関係者・地域にお住まいの方たちが交流する機会を持つ目的でスポーツを通じた交流会を計画する方向で話し合いを重ねました。新型コロナウイルス感染症拡大の波を縫っての開催時期を探って参りましたが、指導のバックアップをいただく機関のご予定や会場の確保などの関係から年度内の開催ではなく令和4年度に開催することを目指していくこととしました。

○知的分会・・・資料5参照

○精神分会

地域で活動されている家族会とのコンタクトを保ち、顔の見える関係づくりを通じて当事者家族の声を伺う中で、地域生活を送る上での解決すべき課題を見出し、地域の協議の場に繋げていくことを目的としています。

\* 家族会への参加

年間を通じて、家族会の集まりに、積極的に参加させていただきました。コロナ禍にあって活動の在り方は異なりますが、「障害を持っている家族のことは誰にでも話せることではない。同じ痛みや悩みを持っている家族会だからこそ話せるし、話すことで気持ちが少し楽になる」というご家族の言葉から、家族会の役割、話す相手がいることの大切さを教えていただいています。

\* 交流会の企画

各市町の家族会同士の交流と、支え合いの関係づくりのため、毎年交流会を開催しております。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大状況により実施できませんでしたが、今年度こそ開催したいというご家

族の想いに導かれて、準備のための会議を重ねました。しかし、年末年始の感染拡大の状況から、直前で中止を余儀なくされました。

○きょうだい児ネットワーク・・・資料6参照

⑧ 支援者ネットワーク会

○短期入所ネットワーク・・・資料7参照

⑨ 就労アセスメントに係る地域連携（ダイレクトB）

※『就労アセスメント』とは

社会の中で働きたい希望をお持ちの障がいのある方々が、就労移行支援事業などを活用し、「就労面に係る課題を把握」するための取り組みです。

※『ダイレクトB（通称）』とは

支援学校を卒業した後の進路として「就労継続支援B型事業」を利用希望の方については、国の指針として「就労アセスメント」の取り組みにより就労面に係る課題が把握されていることが必要となります。この取り組みにおいて、法律上成人（18歳以上）を対象としたサービスの利用が必要なことから、児童相談所から意見をもらうこと等の必要もあり、宮城東部地域では自立支援協議会のネットワークを活用して連携を図り、協働で実施しています。ただし、宮城県内でも自治体や障害福祉圏域、または在籍する支援学校単位で取り組みの方法が異なる場合があります。

○宮城東部地域の取り組み

圏域内にお住いの支援学校高等部進学者の多くは、利府支援学校に在籍しています。そのため大多数は利府支援学校との連携の中でアセスメントを進めています。また、圏域から他の地域の支援学校等に在籍している方については、支援学校ごとの独自の流れに沿って実施しています。

○令和3年度の取り組み

《利府支援学校在校生》※塩竈4名、七ヶ浜4名、利府5名

\*実施期間：①10月18日～22日 ②10月25日～29日

2市3町委託の基幹相談支援センターが場所を提供し、仙台市内の就労移行支援事業所が出張する形でアセスメント実習を実施しました。実習の最終日には振り返りの会議を行い、移行支援事業所から取り組みの様子や実習で見出した課題や評価点などについて共有されました。この結果を基に、各自治体が卒業後のサービスの支給を決定しました。

《視覚支援学校在校生》※利府1名

\*実施期間：7月12日～16日

視覚支援学校を会場に、仙台市内の就労移行支援事業所が出張する形で実施しました。この結果を基に、各自治体が卒業後のサービスの支給を決定しました。

《石巻支援学校在校生》※松島1名

\*会議実施日：3月23日

行政担当者、委託相談事業所、就業・生活支援センター、基幹相談支援センターが参加し、年度内に行った現場実習の評価を基に、就労に係る課題を見出し共有しました。本会議の結果を、アセスメント実習に変わるものとして支給決定のための資料としました。

# 精神地域包括ケア検討会ダイジェスト

発行：令和4年3月

## 検討会の目的

**1** 厚生労働省が、国中のすべての地域で検討することを求めている、取り組みです。

**2** 精神障がいの方をはじめ、どんな方でも安心して暮らすことができる地域を、みんなで話し合いながら作っていくための協議の場です。

**3** 地域社会全体で誰一人疎外せずに、皆のより良い暮らしが実現するように、地域の課題を明らかにし、解決の道を探ります。互いが支え合う新しい地域の仕組みを構築していきます。

地域で取り組むべき「仕組み（支援体制）作り」について、研修を重ねながら知見を蓄えるところからの取り組みです。2/9に講師をお迎えしての研修会（第3回検討会）を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、令和4年度に延期となりました。

### 第1回検討会(7/14)

#### 1. 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築の推進について

※厚労省が各地域に求める「協議の場」において、イメージの共有を行いました。「地域アセスメント」の必要性を学びました。

#### 2. 宮城県の保健医療福祉関係者による協議の場について

※保健所の管轄地域ごとに行っている「圏域支援会議」を活用した宮城県の取り組みについて共有しました。

#### 3. 他市町村の取り組み事例の紹介

※全国様々な地域で行われている取り組みを、当圏域の参考とするため共有しました。

### 第2回検討会(10/13)

#### 1. 宮城東部地域における精神障害者地域移行支援事業について

※緑ヶ丘病院佐藤事務局長より、緑ヶ丘病院が中心に行ってきた地域移行の取り組みについて学びました。

#### 2. 地域アセスメント研修会に向けた協議

※第1回会議で確認した地域アセスメントを実施するために必要な知見を得るための研修会を企画することとなりました。

#### 3. モデルケース支援について

※宮城県が主導して取り組むモデルケース支援について、進捗の確認と意見交換を行いました。

## 検討会の構成

※当初メンバーであり、協議の進捗に応じて拡大も考えます

- 医療法人菅野愛生会 緑ヶ丘病院(佐藤氏 阿部氏)
- 仙台保健福祉事務所 母子障害第二班(畑澤氏 阿部氏)
- 協議会を構成する2市3町行政 障がい福祉担当者
- 基幹相談支援センター(地域拠点センターふきのとう)

令和3年度 宮城東部地域自立支援協議会事務局

●主担当：七ヶ浜町

●副担当：多賀城市

\*庶務：地域拠点センター

ふきのとう



令和3年度 宮城東部地域自立支援協議会

## 地域づくり運営会議ダイジェスト

令和4年3月発行

コロナ禍以前は例年3回程度の会議を持っておりましたが、今年度は社会情勢により1回の開催となりました。

## 【令和3年度地域づくり運営委員】

今野 由美 氏

(利府支援学校特別支援教育コーディネーター)

阿部 肅子 氏

(緑ヶ丘病院医療支援部副部長)

菅野 勇 氏

(杏友園生活支援課主任)

島 知由 氏

(社会福祉法人嶋福社会事務局長)

佐藤 吉永 氏

(東北福祉ビジネス株式会社取締役 COO)

5名の運営委員の他、2市3町の行政担当者と  
基幹相談支援センターが参加しました。

第1回運営会議(令和3年7月7日(水)14:00-15:30 七ヶ浜町役場にて)

## 【議題】

・協議会の組織と構成について

→昨年度構成図を改変。「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築のための検討会」追加。

・令和3年度協議会の取り組みについて

→各ネットワーク会の取り組みと方針について報告(身体・知的・精神・きょうだい児・拠点 PJT・短期入所 NW・相談支援)

→ダイレクト B、差別解消部会、精神地域包括ケア検討会に取り組みと方針について

コロナ禍にあってもできるだけ協議会の動きを止めない様、各市町の行政担当者とふきのとうが協議してきた内容について運営委員の皆様と共有しました。

発行：宮城東部地域自立支援協議会

【事務局】

七ヶ浜町健康福祉課

☎ 357-7449

多賀城市社会福祉課

☎ 368-1141

ふきのとう

☎ 352-1501

# 相談支援部会 ダイジェスト

発行：令和4年3月

## 相談部会の目的

### 2市3町内相談支援事業者の 情報共有とネットワークづくり！

気心の知れた顔のわかる関係を土台にして、連携の強化（地域の相談支援体制の充実）を目指します。また活動を通して、互いの考えや支援の方向性を共有することにより、相互に高め合う場ともなっています。

## 相談部会の内容

（月1回定例開催）

- 国の施策情報等の共有
- 相談支援のノウハウの共有
- 地域のサービス情報を共有
- 自立支援協議会への参画  
⇒ 地域づくりのカギ！
- ケースレビューの実施

## 宮城東部地域の相談支援体制

### 委託相談事業所

しおーも・北上の郷（塩竈市）  
けやき・太陽の家（多賀城市）  
松島町社会福祉協議会（松島町）  
ふつとわ〜く（七ヶ浜町）  
ひまわり・もりのひろば（利府町）

※「基本相談」と「計画作成」をします

### 計画相談事業所

梯（多賀城市）  
りんく・アシスト（松島町）  
地域拠点センターふきのとう（利府町）

※サービス利用計画を作成します。

### 基幹相談支援センター

地域拠点センターふきのとう（2市3町）

※圏域内の相談事業所との連携と共働

※より専門的で高度な相談支援の実施

※地域課題へのアプローチ

「誰もが暮らしやすい  
2市3町を創造する」

# 地域生活支援拠点等運営プロジェクト ダイジェスト

発行:令和4年3月

宮城東部地域自立支援協議会での検討と協議を経て、平成29年度より開始した「地域生活支援拠点等事業」について、事業実績の共有と、機能強化に向けた協議を行うプロジェクトです。令和3年度は2回の会議を実施し、対応事例から見える地域の課題について協議を進めました。

## 緊急短期入所受け皿拡大について

令和2年度末、2名の方の緊急事態が同時に発生し、うち1名の受け入れが出来ないという事態が発生しました。行政機関の職員が夜間の付き添いを行い乗り切りましたが2市3町で1床の緊急枠は十分ではないことが明らかになり、会議の中でも対策を求める声が上がりました。

そのことを受けて、2市3町の会議では、現在の委託での確保に加えて、地域の短期入所事業所と協定を結び、連携体制を構築するための協議を開始しました。

## 医療的ケアが必要な方への対応

当圏域には医療型短期入所は無いため、県内で事業を行っている事業所の情報共有を進めました。また、地域の中の医療機関が「レスパイト入院」を行っていることがわかり、プロジェクト会議を通じて家族会等にも情報提供しています。

2市3町では、医ケアが必要な方たちの生活の実態を掴み、これらの情報を共有するため、相談支援事業所との連携を密にすることを会議の中で申し合わせました。

## 登録者拡大の取り組み

拠点事業を立ち上げる時点で想定した緊急リスクの高い方の登録は完了し、年間の登録者数が減少してきたことから、「次のステージ」の方の登録を進める必要が確認されました。

この緊急支援のデザインは「短期入所」の活用が想定されていることから、受け皿である「さわおとの森」の短期入所を契約されている方の中からリスクの高まりが確認出来た方や、実際に緊急的な利用をされたことのある方をピックアップし、登録候補として行政機関と情報を共有する取り組みを始めました。

会議の中で進捗を報告し登録作業を進めています。

## プロジェクトメンバー

- \* 佐藤吉永氏（運営委員）
- \* 菅井真悠子氏（しおーも）
- \* 下山清子氏（多賀城市手をつなぐ育成会）
- \* 好井まり子氏（利府町手をつなぐ親の会）
- \* 2市3町行政担当者
- \* 地域拠点センターふきのとう

## 令和3年度

宮城東部地域自立支援協議会事務局

- 主担当：七ヶ浜町（宮下）
- 副担当：多賀城市（佐藤崇・佐藤兄）
- \* 庶務：地域拠点センターふきのとう

# 家族等支援ネットワーク 知的分会ダイジェスト

令和4年3月発行

## 〈活動のコンセプト〉

\*知的障害児者の家族等との関わりの中から、この地域で暮らす上での生活の課題を吸い上げ、自立支援協議会での解決に向けた協議に繋がります。

昨年度は、コロナ禍の影響ですべての活動を中止といたしました。令和3年度は家族会等の集まりも段階的に再開され、少ない機会ながら、ご家族との交流も実現いたしました。

## 活動の実績

- 第1回会議 (6/3)
  - ・昨年度の振り返りと今年度活動の方向性について
- 塩釜地区手をつなぐ育成会等連絡会に参加 (7/6)
  - ・各市町の育成会等の活動状況について共有した
- いるかの会に参加 (7/12)
  - ・日常での困りごとや課題等を共有し支えあう場
- 第2回会議 (9/29)
  - ・育成会への参加報告
  - ・家族会等の情報共有
- いるかの会に参加 (10/28)
- 塩釜地区手をつなぐ育成会等連絡会に参加 (11/11)
  - ・コロナ禍における会活動について
  - ・家族がコロナ感染した際の当事者の受け入れ先について
- マドレーヌの会との懇談 (12/1)
  - ・マドレーヌの会会長様とコンタクトを取り、会の活動の現況や、自立支援協議会の活動について情報を交換した

## 知的分会構成メンバー

- ◎リーダー (自立協運営委員)  
島 知由 氏  
(社会福祉法人嶋福社会事務局長)
- メンバー  
船越 勉 氏  
(利府町相談支援事業所ひまわり相談支援専門員)  
工藤 耕輔 氏  
(太陽の子多賀城)
- 事務局  
佐野 篤  
(地域拠点センターふきのとう)

### 令和3年度

#### 宮城東部地域自立支援協議会事務局

- 主担当:七ヶ浜町(宮下)
- 副担当:多賀城市(佐藤崇・佐藤兄)
- \*庶務:地域拠点センターふきのとう

#### 【発行】

宮城東部地域自立支援協議会  
家族等支援ネットワーク知的分会

# 令和3年度 宮城東部地域自立支援協議会 地域づくりネットワーク会 きょうだい児支援ネットワーク ダイジェスト

発行元 宮城東部地域自立支援協議会 令和4年3月

☆今年度のきょうだい児支援ネットワークでは以下のような取り組みを行いました！

## 《メンバー紹介》

- 利府支援学校 : 今野 (リーダー)
- こうそう : 三浦 (サブリーダー)
- 多賀城市 : 佐藤 (崇)・佐藤 (兄)
- 松島町 : 佐藤 (弘)
- 太陽の家 : 阿部 (恵)
- かりん : 内海・須藤
- もりのひろば : 小幡
- 療育支援事業あとれ : 今野・伊丹
- ひまわり園 : 佐藤 (千)
- ふきのとう : 佐藤 (信)・行本

先輩保護者の大江様から子育ての様子やきょうだい児がいるからこその悩みについてお話を聞きました。質問もたくさん出ていましたよ！



## 《感想》

＊保護者様からは、こんな感想が届きました！

- ・男女や生まれた順番で悩みが違うこともあるのだと感じました。
- ・障がいがあってもなくても子育てには悩みがつきないけれど、今回参加して気づきがたくさんありました。
- ・同じ悩みを持つ方々がいるというだけで、心強かったです。
- ・家庭ごとに様々な悩み、苦労があると思いました。特性によってもですが、きょうだい児への配慮や気配りを再認識できたかと思います。

## 《活動内容》

< ニース >

- ・保護者同士の交流の場をつくり、きょうだい児について考える。

< 目的 >

- ・新しい出会いの場ときょうだいの大切さに気づく機会を作る。
- ・保護者同士での悩みや子育てについて共有できる場を作る。

< 日時 >

令和3年10月21日(木) 10時～11時30分

< 場所 >

- ・多賀城市山王地区公民館

< 活動 >

- ・先輩保護者の話を聞き、保護者同士できょうだい児について考えたり話したりする機会を設ける。



3グループに分かれて少人数でのグループディスカッションを行いました！

次年度の取り組みとして...



今年度もコロナウイルスの影響もあり、きょうだい児の保護者を招いて、障害を持つお子様の保護者様との懇談会のみで開催となりました。例年に比べ、参加人数も多くきょうだい児支援への興味関心の高まりを感じました。全体会のあとに少人数でのグループワークもあり、活発な意見交換が見られました。

次年度はきょうだい児が参加し、身体を動かす企画の提供や懇談会への参加意欲の高まりを感じたので、開催回数を増やすことを視野に入れていきたいと感じました。この機会を大切に今後も保護者様が悩みや不安を解消できる機会やネットワークを広げていく取り組みに努めてまいります。

【お問い合わせ先】

宮城東部地域自立支援協議会 きょうだい児支援ネットワーク  
地域拠点センターふきのとう Tel (022) 352-1501



# 令和3年度 宮城東部地域自立支援協議会 短期入所ネットワーク ダイジェスト

発行元：宮城東部地域自立支援協議会 令和4年3月

## 「コロナ対応どうしてる？」

### 圏域内の事業所職員が情報交換を行いました！

①同事業の担当同士で顔の見える関係を作ること、②お互いの事業所の情報を共有することを目的に、今年度も短期入所事業所職員の情報交換会を開催しました。

日時：令和3年6月30日（水）10：00-11：30 場所：さわおとの森

#### ◆お声がけした事業所◆

【短期入所】あすなろ（塩釜市）／杏友園（塩釜市）  
／松の実（松島町）／さわおとの森（利府町）／みんなの家（利府町）／僕の家私の家（富谷市）  
【拠点センター他】わはわ大衡（大衡村）／ぱれっと吉岡（大和町）／ふきのとう



コロナ禍ではありましたが・・・

杏友園／松の実／さわおとの森  
／みんなの家／僕の家私の家／  
わはわ大衡／ぱれっとよしおか  
／ふきのとうより11名の参加  
をいただきました。去年より多い！

#### ①自己紹介・事業所紹介

- ◆担当者の自己紹介と事業所の特色などの説明をしていただきました。
- ◆本日欠席の事業所の情報もご紹介させていただきました。

#### 内容

#### ②情報交換・情報共有

- ◆疑問点を質問したり、日ごろの悩みを相談したり、ざくばらんに情報交換をしました。
- ③さわおとの森見学
- ◆コロナ感染拡大を防ぐため、資料のみで終了。

#### Q コロナ対応どうしてる？

- A・消毒、検温（何度も）の徹底。職員はマスク。（難しいけど）利用者さんもできるだけマスク。
- ・同法人の通所事業を利用している人に限定させてもらった。
  - ・状況を見て閉所していた時期もあった。 ・補助金で対策用品購入した。
  - ・後からたどれるよう車内の配置、居室などを記録しておいた。 ・体調不良者用個室を確保 etc.

#### Q 短期入所に保護者は何を求めているのか？最近悩ましい・・・

- A・家や学校でできることを外（SS）でもできるかどうか（維持汎化）、確認する場所になっている。
- ・手厚い介助を求める方へは体制を説明し他 SS を提案したりもする。泣かれてしまうこともある。
  - ・余暇支援に力を入れて、楽しんで帰ってもらい次につなげることもひとつの目的。 etc.

※令和3年度中に第2回目のネットワーク会の実施を目指して3月に企画しましたが、  
どこの事業所もコロナ禍により業務多忙・職員不足！残念ながら中止となりました。

圏域内外の短期入所事業の質的向上と量的・面的拡大を目指して、  
令和4年度も継続してネットワーク会を行ってまいります。

令和3年度 宮城東部地域自立支援協議会 活動実績

令和3年度	【事務局】 塩竈市・利府町・ふきのとう	【2市3町会】 2市3町行政担当者・ふきのとう	【就労アセスメントに係る連携】 本人、保護者、支援学校、行政 相談支援事業所、就労移行支援事業所		【相談支援部会】 相談支援事業所	【障がい者差別解消部会】 運営委員・2市3町担当者 相談支援事業所・事務局	【運営会議】 運営委員・2市3町担当者 事務局	【プロジェクト】 地域生活支援拠点等運営	【地域づくりネットワーク会】															
									【支援者ネットワーク】	【家族等支援ネットワーク】				きょうだい児	精神	知的	身体							
										日	内容	日	内容					日	内容	日	内容			
4月	7	・課長会議について ・年間計画について	15	(「課長会議」として開催)	13	移行支援事業所との打ち合わせ (視覚支援学校ケース)	・視覚支援学校 ・移行支援事業所 ・ふきのとう	22	・情報共有と課題検討															
5月	12	・あいさつまわりについて ・運営会議について ・差別解消部会について ・精神包括検討会について	19	・ふきのとう業務報告 ・就労アセスメントについて ・今後の予定について				27	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー					21	東雲会総会へ参加									
6月	2	・運営会議について ・精神包括検討会について ・差別解消部会について	9	・ふきのとう業務報告 ・運営会議について ・精神包括検討会について ・差別解消部会について	14	視覚支援学校ケース サービス担当者会議	・本人、保護者 ・行政、相談 ・移行支援事業所 ・利府支援学校 ・ふきのとう	17	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー			30	短期入所NW会	25	打ち合わせ ・振り置き ・ニーズ整理 ・今年度内容検討	18	東雲会に参加	3	第1回会議 ・昨年度の振り返りと今年度の方向性について	10	第1回会議 ・昨年度振り返り ・今年度の活動について			
7月	7	・運営会議について ・精神包括検討会について ・差別解消部会について ・各NW会の進捗 ・ダイレクトBの進捗 ・拠点PJTについて	14	<b>第1回精神地域包括 検討会</b> ・ふきのとう業務報告 ・運営会議について ・差別解消部会について ・拠点PJTについて	12 16	視覚支援学校ケース アセスメント実習 視覚支援学校ケース 振り返り会議(16日)	(会議参加) ・本人、保護者 ・行政、相談 ・移行支援事業所 ・利府支援学校 ・ふきのとう	21	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー	7	第1回運営会議 ・令和3年度の協議会の構成と取り 組みについて ・精神包括検討会について			15	第1回会議 ・今年度の取り組みについて ・役割分担 ・スケジュール	16	東雲会に参加	6	塩釜地区手をつなぐ育成会等 連絡会に参加(2名)		12	いるかの会に参加		
8月	4	・各NW会の進捗について ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について ・事務局会議について	11	・ふきのとう業務報告 ・各NW会の進捗について ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について ・事務局会議について	6	就労アセスメント保護者説明 会	・保護者 ・利府支援学校 ・移行支援事業所 ・ふきのとう	19	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー			26	第1回打ち合わせ ※伊藤氏、及川氏と ・昨年度研修会の振り返り ・今年度内容について			23	ぼこ・あ・ぼこに参加							
9月	1	・各NW会の進捗について ・ダイレクトBについて ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について ・事務局会議について	8	・ふきのとう業務報告 ・各NW会の進捗について ・ダイレクトBについて ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について ・事務局会議について	6 9	利府支援学校ケース サービス担当者会議	・本人、保護者 ・行政、相談 ・移行支援事業所 ・利府支援学校 ・ふきのとう	16	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー					28	第2回会議 ・10/21懇談会について			29	第2回会議 ・分会の目的と今後の活動につ いて ・家族会等の情報共有					
10月	6	・各NW会の進捗について ・ダイレクトBについて ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について	13	<b>第2回精神地域包括 検討会</b> ・ふきのとう業務報告 ・各NW会の進捗について ・ダイレクトBについて ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について	22 29	利府支援学校ケース アセスメント実習 (18~22)、(25~29) 振り返り会議(22日、29日)	(会議参加) ・本人、保護者 ・行政、相談 ・移行支援事業所 ・利府支援学校 ・ふきのとう	21	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー			27	第2回打ち合わせ ※村田氏と ・差別解消部会の目的とこれま での活動を説明 ・今年度の研修会で取り組みの 報告をいただくことを依頼(お引 き受けいただけるのと返答をい ただいた)			21	懇談会	8	東雲会に参加	28	いるかの会に参加	5	第2回会議 ・交流会について	
11月	2市3町会議と統合 以下同じ	17	・ふきのとう業務報告 ・各NW会の進捗について ・ダイレクトBについて ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について				25	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー			22	第3回打ち合わせ ※伊藤氏、及川氏と ・詳細な内容について			12	第3回会議 ・懇談会の振り返り	15	第3回会議 ・交流会について	19	東雲会に参加	11	塩釜地区手をつなぐ育成会等 連絡会に参加(4名)	9	第3回会議 ・交流会について ※来年度実施に向けて意見交 換
12月		18	・ふきのとう業務報告 ・各NW会の進捗について ・ダイレクトBについて ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について				16	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー			9	研修会場(松島町観光文化交流 館)において通信テストを実施			22	第2回プロジェクト会議 ・登録者数の報告 ・緊急対応実績報告 ・登録者数の拡大 ・レスパイト入院情報 ・緊急SS受け皿拡大	10	東雲会に参加	22	あけぼの会に参加 ※交流会チラシ完成 発信開始	1	マドレーヌの会会長と懇談(菅 原様)		
1月		12	・ふきのとう業務報告 ・各NW会の進捗について ・ダイレクトBについて ・拠点PJTについて ・精神包括検討会について ・差別解消部会について				20	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー			13	第4回打ち合わせ ※伊藤氏、及川氏、村田氏と ・丸文汽船の取材と講演の打ち 合わせ					11	第4回会議 ・最終打ち合わせ ↓ ※新型コロナウイルス感染拡大状況を 受けて中止	21	東雲会新年会に参加	24	合同懇談会 (東雲会・さざんか会・あけぼの 会)		
2月			新型コロナウイルス感染拡大の ため中止 (第3回精神地域包括検討会 2市3町会議ととも)				17	・情報共有と課題検討 ・ケースレビュー									10	第5回会議 ・阿部リーダーとふきのとうで振 り返り	28	ぼこ・あ・ぼこに参加				
3月		9	・ふきのとう業務報告 ・各NW会の進捗について ・ダイレクトBについて ・今年度実績まとめ ・次年度計画			23	石巻支援学校ケース アセスメント表か会議											18	東雲会に参加					
年間まとめ																								